



新潟市環境部循環社会推進課 御中

2025年度活動報告書（3R推進部門）～OLYMPUSの3Rへの取り組み～

1. 3R活動 ～OLYMPUSの3Rへの取り組み～



Reduce

- 森林や遊歩道の整備作業（オリンパス長野事業場）



- 白神山地 ブナ並木の植樹（青森オリンパス）



Reuse

- 事務用品の再利用（新潟支店）



余剰となった事務用品を再利用して無駄な廃棄、新規購入を抑制します。



Recycle

- 資源リサイクルの成果※詳細は下記リンク
<https://www.olympus.co.jp/csr/environment/naturalcapital-and-waste/?page=csr>

廃棄物排出量・埋立量



2. サステナビリティ

「Dow Jones Sustainability World Index

（DJSI World）」に4年連続で選定

2024年12月24日

オリンパス株式会社（以下、オリンパス）は、世界の代表的なコーポレート・サステナビリティ評価指標である「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」の構成銘柄に選定されました。DJSI Worldは4年連続の選定となります。また、「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index (DJSI Asia Pacific)」の構成銘柄にも6年連続で選定されました。

Dow Jones Sustainability Index (DJSI) は、S&P Dow Jones Indices社とRobecoSAM社が共同開発したESG投資に関するコーポレート・サステナビリティ評価指標で、環境、社会、ガバナンスの3つの側面から企業活動を評価し、持続可能性（サステナビリティ）に優れた企業を毎年選定しています。

2024年は、世界の約3,500社から321社がDJSI Worldに選定されました。62の産業分野（Industry）の内、オリンパスが所属する「医療機器（Health Care Equipment & Supplies）」では、71社中7社がDJSI Worldに選定されています。今年度オリンパスは、「税務報告」、「危機管理」、「労働慣行」に加え、特に「気候変動」、「マテリアリティ」の項目において昨年度より得点が向上しました。「気候変動」においては、オリンパスグループの短期目標※1及びネットゼロ目標※2がSBTiから認証を取得したことが評価され、「マテリアリティ」においては、重要課題の解決に向けた適切な目標設定・施策管理が評価されました。

※1 2031年3月期までに温室効果ガス排出量（Scope1、2）を2020年度基準年から70%削減。

2028年3月期までに当社サプライヤーの80%が科学的根拠に基づく温室効果ガス削減目標を設定（購入した製品やサービス、資本金、上流の輸送・流通の排出量ベース）

※2 2040年までにサプライチェーン全体で温室効果ガス排出量（Scope1、2、3）のネットゼロ達成。

OLYMPUS

True to Life

Sustainability
Report 2024

サステナビリティレポート

